

小齊平農林水産大臣政務官のFAOアジア太平洋地域総会出席等の結果概要

平成18年5月
農林水産省

1. 日時：平成18年5月17日（水）～19日（金）
2. 随行者：下保国際協力課国際農業機関調整官ほか

3. 結果概要：

○FAO地域総会

（5月18日 於：インドネシア・ジャカルタ）

(1)政府代表演説

シャングリラホテル会議場にて、小齊平大臣政務官が行った日本政府代表演説の主な内容は以下のとおり。

- ・ 昨年12月の「WTO香港閣僚会議」に際して我が国が表明した、途上国の開発を進め、自由貿易体制から更なる利益を得られるようにするための、「開発イニシアチブ」の推進に向け、農林水産分野においても、いわゆる南南協力を含めた幅広い協力による人材育成に取り組むこととしている。
- ・ 近年、アジア地域においても高病原性鳥インフルエンザの感染が拡大し、世界的な新型インフルエンザの大流行も懸念されており、我が国はこのため、家禽を対象とした各国の防疫対策の強化・向上等を支援するためにFAOに対し約1,100万ドルを既に拠出した。
- ・ 我が国は、世界第2位の分担金負担国として、FAOの効率的・効果的な運営に強い関心を抱いており、関係国と連携しつつ、滞納国による支払計画の提出を含む財政改善に向けた提案を行ってきた。
- ・ FAOの改革については、昨年11月の総会において決まった第一段階の改革について、その評価を十分に行うこと、さらなる改革の実施に当たっては、その評価を踏まえた上で加盟各国と十分な議論を尽くすことが重要であると考えている。

(2)ディウフFAO事務局長との会談

- ・ FAOの財政・組織に関する改革案やFAOと連携した開発イニシアチブ等に対する取組の重要性などについて意見交換を行った。